

令和6年度（2024年度） 金沢大学法科大学院 入学試験問題
C日程問題 小論文問題

出題の意図

問1

本問は、ロールズの正義原理および格差原理が正当化される論拠について、本文中の記述を踏まえつつ、簡潔に要約するという文章理解力および構成力を見ることを主眼とする。解答に際しては、自己の将来リスクを最小限に抑える行動原理としての「マキシミン原理」や、自己の所属階層が不明な状態での選択を仮想する「無知のヴェール」といった文中でのキーワードについても適宜参照しつつ、本文に即した具体的な記述をすることが求められている。

問2

本問は、まず、個人の所得がいかなる考慮要素に基づき分配されるべきかという論点につき、ロールズによる議論の概要、とりわけ所得の分配法理としての格差原理の考え方について、簡潔に説明をなしうる文章要約力および構成力があるかを測ることを狙いとする。その上で、上記の論点に関する自己の見解につき、その具体的論拠を明確に提示した上で、説得的に論じるという批判的思考力および表現力があるかを見ることを主眼とする。